

第33回 先端医療センター Monthly Lecture

多くの研究機関や関連企業が集積し、クラスターとしての体制が整いつつある神戸医療産業都市における次の課題は、意見交流の場を様々な形でつくりだし、関係者の縦横の協力関係を構築し、最近の研究開発をめぐる大きな変化に対応する体制を作り上げることです。その一つの試みとして、優れた研究者による講演会を定期的に開催し、交流、協力関係構築のきっかけを提供したいと考えております。

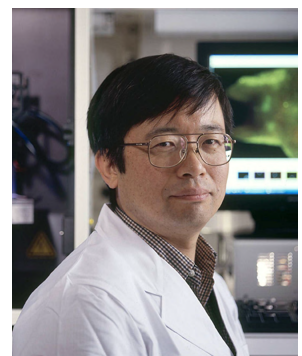
学会や交流会は盛んに行われており、最新のトピックスを伺う機会は豊富にあります。優れた研究者の一連の研究の歩みや領域全体の研究の流れを伺う機会は多くはありません。そこで、本レクチャーシリーズでは優れた研究者をお招きし、十分な時間を取って一連のストーリー、考え方、研究に対する思い入れをお話しいただきます。

先端医療センター長 鍋島 陽一

日時・場所

2015年3月18日（水）16:30～18:30

神戸臨床研究情報センター（TRI）第1研修室 ※参加費無料



■ 講師 小林 久隆 先生 米国国立衛生研究所（NIH）国立がん研究所（NCI）分子イメージングプログラム主任研究員

■ 演 題 がん細胞選択的診断・治療法の開発：化学・物理を医学に応用することの意義
Rationally designed cancer cell-selective diagnosis and therapy based on chemistry and physics.

■ 講演内容 より特異的な癌診断は、より正確な治療を可能にし、さらに癌細胞への超選択的治療は、癌病変に対しては強力で、患者の体に対してはやさしい治療になりうる。近年、生物学と同様に化学や物理学も長足の進歩を遂げ、理論の統合による新しい視点からの技術の開発が可能になった。この講演では、近年我々が開発した特異性を重視したがんの診断技術と、その進化形である超選択的癌治療「近赤外光線癌治療」の開発理念と応用について論じ、さらに臨床治験への道筋についても触れたい。

■ お申込み ◎参加を希望される方は、事前にEメール (monthly-sanka@fbri.org) にて、お名前・ご所属・メールアドレスをお知らせ下さい。
◎当日参加の方も歓迎です。
◎事前申込をいただいた方には、今後の「先端医療センターMonthly Lecture」のご案内をはじめ、当財団からのシンポジウムや講演会等のご案内をお送りさせて頂きたく存じます。
連絡不要の方はお手数ですが、その旨お知らせください。

■ お問合せ Mail: monthly-sanka@fbri.org TEL:078-306-0708